

平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

| | | | |
|-------------|---|-----|--------------|
| 施設名 | 柳津児童館 | 所管課 | 子ども未来部子ども支援課 |
| 所在地 | 岐阜市柳津町丸野1丁目34番地 | | |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団 | | |
| 指定期間 | 平成24年4月1日～平成29年3月31日まで | | |
| 選定方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募 | | |
| 料金制 | <input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし | | |
| 指定管理委託料(年額) | 16,817,142円 | | |
| 施設の設置目的 | 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。 | | |
| 施設概要 | ◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,841.95㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所 | | |

●利用状況

| | | H28 下半期 | H28 上半期 | H27 下半期 | H27 上半期 | H26 下半期 |
|----------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 利用者数 (単位:人) | 来館者数 | 18,794 | 21,277 | 16,812 | 19,097 | 16,389 |
| | 移動児童館利用者数 | 1,403 | 480 | 986 | 907 | 2,387 |
| 各室稼働 状況 | 移動児童館実施回数(単位:回) | 25 | 16 | 21 | 17 | 25 |
| | 開館日数(単位:日) | 144 | 150 | 145 | 149 | 142 |

●業務の履行確認

| 区分 | 確認事項 | 履行状況 |
|-----------|---|---|
| 利用者サービス | ①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施 | ①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤・高齢者福祉センター所長兼務)、常勤職員(児童厚生員)2人、非常勤職員(児童厚生員)1人 ③おたより「わんぱくっこ」及び「幼児向け日程表」を担当小学校に配布、地域の保健センター及び公民館に掲示。ホームページ及びぶりあネットの活用。 ④利用者アンケート(幼児クラブ利用の保護者)を実施し、結果について館内に公表を行う。 |
| 自主事業・提案事業 | — | — |
| 施設管理 | ①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理 | ①、④適切に実施。 ②就労促進事業清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電と節水を実施。光熱水費の省エネに努めた。工作材料に廃材を積極的に使用している。 ④玩具・備品の配置を見直し、安全面の点検を行い、新しいものに交換。 |
| 施設修繕 | 下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 | ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。 |
| 危機管理・法令遵守 | ①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守 | ①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②防災訓練を1回実施。 |

●利用者評価

| | |
|--------------------------|--|
| <p>利用者アンケートの実施状況</p> | <p>【幼児クラブアンケート】 1. 平成29年3月7日～14日に子育て支援事業(幼児クラブ1歳児)に登録している母親にアンケート(無記名)を実施。 登録者数40人 回答者32人(回収率80%) 2 平成29年3月9日～16日に子育て支援事業(幼児クラブ2歳児・3歳児)に登録している母親にアンケート(無記名)を実施。 登録者数 57人 回答者数44人(回収率73%)</p> |
| <p>利用者アンケートの実施結果</p> | <p>○幼児クラブはいかがでしたか？ (1歳児) ・楽しく参加できた 16人 ・感謝している 13人 ・また参加したい次回も期待している 4人 ・他の人と交流がもて同年齢の子と遊べてよかった 4人 ・季節に合った遊びがたくさん体験できて楽しかった 3人 ・子どもが楽しめるいろいろな内容でよかった 3人 ・いつも優しく接してもらい嬉しかった 3人 ・子どもが最初戸惑っていたが回数を重ねて活動的になり楽しんで参加できるようになった 3人 ・新聞遊びなど家ではできないいろいろな体験ができていい時間が過ごせた 3人</p> <p>(2・3歳児) ・楽しく参加できた 23人 ・感謝している 12人 ・季節に合った遊びやたくさんイベントを工夫し計画してくれて嬉しい 6人 ・同年代の子どもと友だちができ、一緒に遊べたり関わってよかった 6人 ・子どもの成長が実感できてよかった 6人 ・内容が充実していて満足している 5人 ・お店屋さんごっこの品物や作品作りがこっていて感動大切な宝物、家でも遊んでいる 5人 ・子どもの成長にあわせた遊びが工夫され、とても楽しい時間が過ごせた 5人 ・先生方のおかげで楽しく通えてよかった(声かけ・優しい対応・話を聞いてもらった) 5人 ・家ではできないいろいろな遊びを体験ができてよかった 4人 ・子どもがのびのびと活動でき、楽しそうだった 4人 ・託児をしてもらい助かり、上の子と貴重な時間が過ごせた 4人</p> |
| <p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p> | <p>・駐車場が不便。 ⇒駐車場の数には限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。 ・古い本が多いように思う。新しい本を入れてほしい。 ⇒毎年新しい本を購入し喜ばれています。是非、職員に直接リクエストしていただけるとありがたいです。 ・トイレのスリッパをひとつ増やしてほしい。 ⇒1つのトイレに2足使えるように増やしました。 ・老人施設と交流できるイベントがもっとあるとうれしい。 ⇒参加ありがとうございます。年に5回ほどあります。告知を早めにしますのでは是非参加してください。また、どんなものがいいかのご意見をお聞かせください。</p> |

●指定管理者の選定基準に基づく評価

| 区分 | 選定基準 | 評価項目 | 具体的な業務要求水準 | 評価 | | |
|------------|---|--|---|-------|-----|-------|
| | | | | 指定管理者 | 所管課 | 評価委員会 |
| 公平性 透明性 | 住民の平等利用が確保されること | 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど | ・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催 | A | A | A |
| | | 情報公開、広報の方策 | ・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど) | A | A | A |
| | | 区分評価 | | | A | |
| 効果性 | 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること | 既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施 | ・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施 | A | A | A |
| | | 利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など | ・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応 | A | A | A |
| | | 利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など) | ・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施 | A | S | S |
| | | 利用促進、利用者増の方策 | ・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施 | A | S | S |
| | | サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど | ・事務分掌等に基づく事務分担の実施 | A | A | A |
| | | 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置 | ・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること) | A | A | A |
| | | 区分評価 | | | A | |
| 効率性 | 事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること | 指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など) | ・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行) | A | A | A |
| | | 管理経費削減の具体的方策 | ・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など) | A | A | A |
| | | 区分評価 | | | A | |
| 区分 | 選定基準 | 評価項目 | 具体的な業務要求水準 | 評価 | | |
| | | | | 指定管理者 | 所管課 | 評価委員会 |
| 安定性 安全性 | 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること | 組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等 | ・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること) | A | A | A |
| | | スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制 | ・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施 | A | A | A |
| | | スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策 | ・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加 | A | A | A |
| | | リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど) | ・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践 | A | A | A |
| | | 区分評価 | | | A | |
| 貢献性 | 事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること | 地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等) | ・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用 | S | S | S |
| | | 地元での社会活動等への参加 | ・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施 | S | S | S |
| | | 区分評価 | | | S | |

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>今期の取組みに対する評価</p> | <p>○母親クラブの協力で「あきまつり」、高校生、地域ボランティア及び岐阜聖徳学園大学「柳」の協力で「やないづふれあいフェスティバル」、岐阜聖徳学園大学教育文化研究会かっぱの会13名と女性の会9名及び小学生ボランティア12名の協力で「児童館まつり」を盛大に開催することができた。「児童館まつり」では普段遊びに来れない地域の子もたちと保護者も多勢参加してふれあうことができた。準備から当日の接客など小学生ボランティアの一生懸命に取り組む姿が好感をもたらし、好評であった。 ○地域のボランティア講師による新しい講座(小学生のためのフラダンス・幼児親子のリトミック)が好評になり、毎月の行事として定着し、来年度の継続が決定した。 ○地元出身の高校生ボランティアによる「手芸教室」を新たに開講し、手芸好きの小学生が毎回楽しみに参加した。来年度の継続が決定した。 ○地域商業施設との連携で児童館で作った子どもたちの作品が1ヶ月展示され、地域の方々に喜ばれた。 ○柳津町商工会青年部、小学校PTA、自治会等と協働して「やないづふれあいフェスティバル」を開催した。児童館は材料の購入、参加申込受付、風づくりの補助を行う大学生ボランティアへの指導を担当するなど、まつり運営に協力することができた。それぞれの団体と連携がとれ、まつりは盛況となった。また、地域商業施設の協力により、優秀作品の風を展示することもできた。</p> |
| <p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p> | <p>○事業団内の児童館・児童センターの職員対象に研修を開催している。遊びを持ち寄りながら、お互いのスキル向上に努めている。 ○アンケートの要望により、泡石・手洗い場の幼児用踏み台を設置した。 ○新規事業の試行として、地域保護者ボランティアにより午後からの幼児親子対象のリトミックの体験を3回行ったところ、希望者も多く好評で、次年度正式に取り入れることとする。 ○夏休み講座としていた小学生のフラダンスも好評となり、月に2回ペースの講座として継続されている。来年度は市のイベントにも参加する計画があり、次年度継続の講座として取り組んでいる。 ○高齢者福祉センター・放課後児童クラブが併設されているメリットを最大限活用し、世代間交流として、地域の女性の会の協力で「ぜんざい会」、児童館まつりでの「うどん会」、聖徳幼稚園児と高齢者のふれあい交流を実施した。未就園児親子も参加し交流することができた。 ○幼児クラブ終了後に食事の場として、高齢者福祉センター1階ホールを継続して提供している。</p> |
| <p>今後の取組み</p> | <p>○児童館の原点である3つの目的を改めて確認し、充実を図りたい。また、高学年児童へのはたらきかけと新規事業に取り組む。(・遊び場の提供、遊びの紹介・子育て支援・地域との連携) ○高齢者福祉センター、放課後児童クラブが併設されているメリットを最大限活用し、世代間交流の推進を図るため、特に高齢者福祉センターの利用者からの要望もあって、子どもたちと一緒に楽しめるイベントを地域ボランティアと協働して企画する。 ○利用者増加の分析の結果 オリンピック効果により卓球、バドミントンの小学生高学年の集団利用が増えた。新しく中学生になる子どもたちが、今後も児童館が息抜きの場でもあり、学習の場としても利用できることを理解してもらい、さらに中高生の利用増加を図る。 ○児童館まつりで活躍した小学生ボランティアが、他の小学生を巻き込んで日常のお手伝い(幼児にぬりえを渡す等)を喜んで行っているため、継続して子どもたちのボランティア意欲を認めて高めていく。 ○次年度の新規事業として、幼稚園児親子対象のキッズイングリッシュが地域ボランティアにより開講する。 ○子どもフラダンスと保護者や高齢者福祉センターのフラダンス合同の発表会ができる機会を設ける。 ○今年度に引き続き和太鼓保存会との協力で太鼓の講座も継続していく。 ○地域との連携 柳津地域の特性として、行事を地域の各団体が関わって開催していく、実行委員会形式の催しが多く、児童館もメンバーとして要請される機会が多い。そういう機会をとらえ、地域の団体や人との関係をしっかりと構築し良好な関係を保つことにより、児童館で行う行事に際しても協力関係が得られるよう推進していく。</p> |

●所管課の意見

毎月のおたよりを担当小学校に配布し、児童館及び岐阜市社会福祉事業団のホームページで事業の紹介するほか、地域の保健センターや公民館に広報版を設置するなど、児童館の周知に努めた。
新規事業として地域のボランティア講師による「小学生のためのフラダンス」や「幼児親子のリトミック」が好評となり毎月の行事として定着するほか、高校生ボランティアによる「手芸教室」も開講し、手芸好き小学生のニーズを開拓した。
幼児対象のイベント「あきまつり」では母親クラブ、地元との合同イベント「やないづふれあいフェスティバル」では高校生、大学生及び地域ボランティア、「児童館まつり」では小学生が活躍するなど地元ボランティアを積極的に活用し児童館活動を盛り上げており、また、地域の商工会青年部と小学校と協働して行ったイベント「やないづふれあいフェスティバル」では、作成した風を地元商業施設で展示を行うなど、地域と連携した活動を積極的に行っている。
職員体制や運営状況については問題なく行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

高齢者福祉施設併設のメリットを活かした子どもと高齢者のふれあい企画が評価でき、これからも事業を継続及び拡大する様、努力してほしい。
また、地域資源を巻き込み、地域づくりに貢献する取組みについて大いに評価できる。
管理運営は適正に行われており、良好と認められる。